

「第5回 徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」が開催されました

徳島県内では、兵庫県豊岡市周辺以外では全国で初めてコウノトリが野外繁殖に成功しました。また、大陸から飛来・越冬するツル類の数が増加していることから、全国的・国際的に重要な生態系ネットワークの拠点として注目が高まっています。

こうした背景から、平成29年10月に吉野川流域における河川を軸とした生態系ネットワーク形成の実現化に向けて、多様な主体との連携・協働方策等を検討するため、「吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」を設立しました。現在、コウノトリ・ツル類は、徳島県内の各流域で飛来が確認されるようになってきていることから、令和3年1月からは発展移行させ、徳島県全域を対象とした「徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」を設立しました。今回は、「第5回徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」を開催しました。



1.開催日時：令和7年2月3日（月）14:00～16:00

2.参加者：協議会構成員及び徳島県内の経済・観光等の有識者

3.開催場所：徳島県教育会館 5階ホール

4.議事：

（1）規約について

（2）徳島県流域コウノトリ・ツル類の舞う生態系ネットワークの取組状況について

（3）短期目標に対する取組の進捗及び今後の課題について



「徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク全体構想」の短期目標（～2025年）の達成に向け実践してきた取組状況の現状と課題を踏まえ、最終年度の取組について申し合わせを行いました。各主体が連携・協働し、採食や環境の保全・再生等を推進して参ります。

また、大阪・関西万博や大鳴門橋自転車道の開通、ワールドマスターズゲームズ2027関西等を見据えた普及啓発・情報発信の取組について、今後外国人旅行者の増加が見込まれるため、新たに英語版のコウノトリ普及啓発パネルや動画を制作し、外国人旅行者の訪問が想定される施設等での展示・放映に向け、検討を行います。